

第62回 土木計画学研究発表会 委員会報告

- 1) 委員長挨拶
兵藤哲朗（東京海洋大）
- 2) 土木計画学研究学委員会報告
藤井聡（京都大学）
- 3) 学術小委員会報告
佐野可寸志(長岡技術科学大)
土屋哲(鳥取大)
- 4) 運営小委員会報告
寺部慎太郎（東京理科大学）
- 5) 土木計画学研究委員会
幹事会企画報告
- 6) 土木学会論文集
「D4」設置について
藤井聡（京都大学）

委員長	兵藤哲朗(東京海洋大)
副委員長	白水靖郎(中央復建)
	高橋 清(北見工業大学)
学術小委員長	佐野可寸志(長岡技術科学大学)
副委員長	古市正彦 (国際協力機構)
大会運営委員長	寺部 慎太郎 (東京理科大学)
大会運営幹事長	西内 裕晶 (高知工科大学)
小委員長	<別掲>
幹事長	藤井聡(京都大学)
委員	筒井 祐治 (国土交通省都市計画調査室長)
委員兼幹事	田中 皓介 (東京理科大学) 小池 淳司 (神戸大学)
	松田 曜子 (長岡技術科学大学)
	Jan Dirk SCHMOECKER (京都大学)
	松本 浩和 (地域未来研究所) 泊 尚志 (東北工業大学)
	鈴木 春菜 (山口大学)
	伊地知 恭右 (北海道開発技術センター)
	吉城 秀治 (福岡大学) 川崎 智也 (東京大学)
	楽 奕平 (芝浦工業大学) 岡 英紀 (計量計画研究所)

活動中（令和2年度）の研究小委員会・WS

- 1 自転車政策研究小委員会 (吉田 長裕)
- 2 少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり研究小委員会 (大森 宣暁)
- 3 「権利と効率のストック効果に関する研究小委員会」 (小池 淳司)
- 4 モビリティ・ギャップ研究小委員会 (橋本 成仁)
- 5 新しいモビリティサービスやモビリティツールの展開を前提とした交通計画論の包括的研究小委員会 (秋山哲男/中村文彦)
- 6 相乗型災害時の交通マネジメントの理論再構築と社会実装研究小委員会 (藤原 章正)
- 7 公共交通プライシング研究小委員会 (加藤博和)
- 8 インフラ・ファイナンス研究小委員会 (安間 匡明)
- 9 物流に関わる国際戦略・研究活動支援事業 (柴崎隆一)
- 10 日本モビリティ・マネジメント会議実行委員会 (藤井 聡)
- 11 鉄道技術・政策連合シンポジウム (J-RAIL) 実行委員会 (金子 雄一郎)

(新規委員会設置報告)

「維持修繕および防災の統合的マネジメント小委員会」

小委員長：貝戸清之（大阪大学）

活動機関：2020年 11月～ 2023年 11月）

第62回土木計画学研究発表会（秋大会）

学術小委員会報告

- 土木計画学研究委員会 学術小委員会
- 委員長 佐野 可寸志
(代理報告 幹事長 土屋 哲)

D3特集号Vol.38 の査読状況

7月10日～ 8月末：査読（委員30名を含む 全287名）

10月23日：一次判定結果の通知

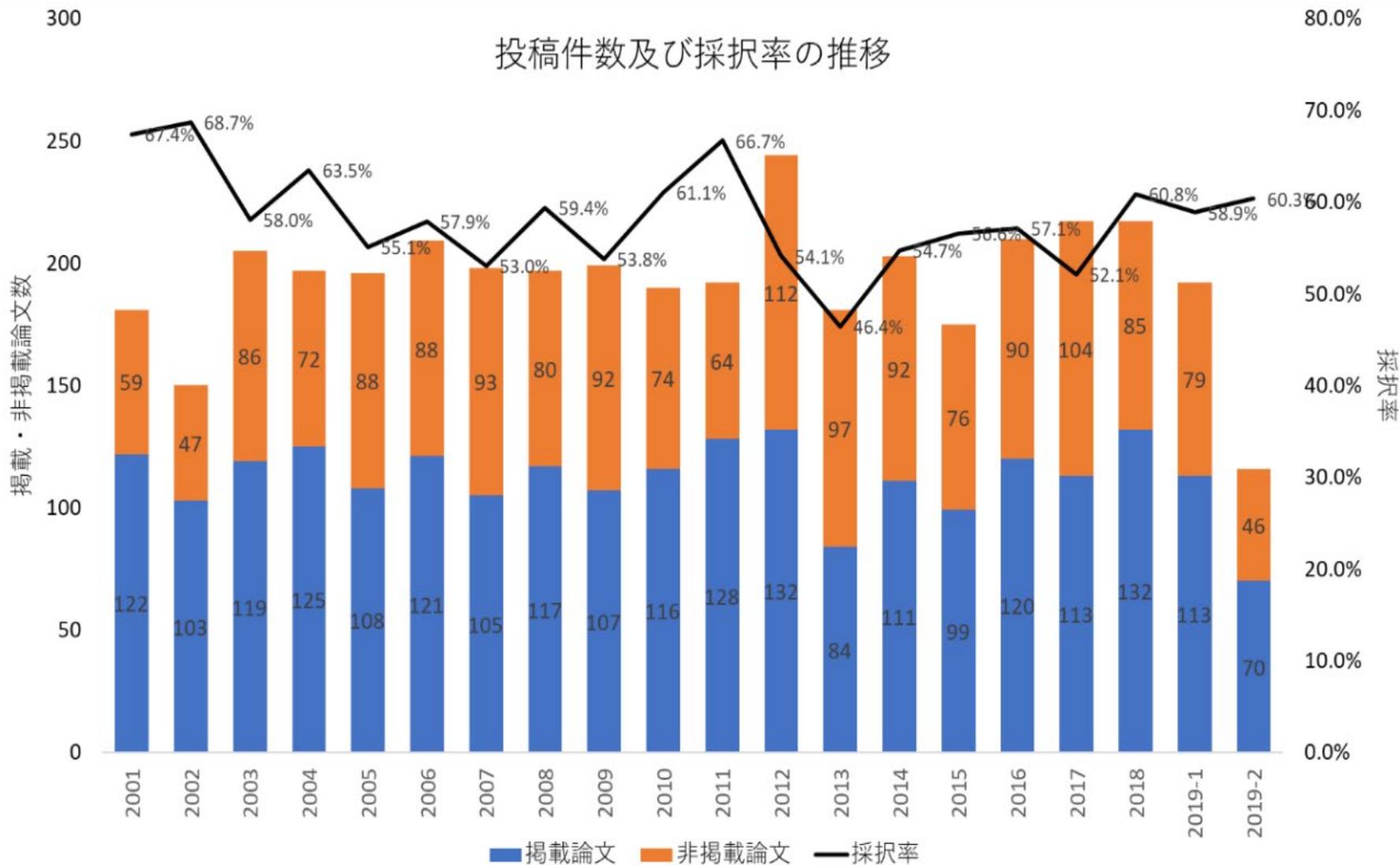
Vol. 38 (2020)	全投稿	229 編		
	一次判定	○ : 33 (14%)	△ : 120 (52%)	× : 76 (33%)

(参考1) 近年の D3 特集号の一次判定結果

Vol. 37 (2019-2)	全投稿	117 編		
	一次判定	○ : 22 (19%)	△ : 62 (53%)	× : 32 (28%)
Vol. 36 (2019-1)	全投稿	192 編		
	一次判定	○ : 42 (22%)	△ : 84 (44%)	× : 66 (34%)
Vol. 35 (2018)	全投稿	217 編		
	一次判定	○ : 50 (23%)	△ : 97 (45%)	× : 70 (32%)

投稿件数・採択率の推移

投稿件数及び採択率の推移



Vol.38 今後のスケジュール

10月23日：一次判定結果の通知

11月20日：修正論文の投稿期限（17時）

12月末：最終判定結果の通知

2021年 4月：刊行予定

重要なお知らせ

- [ipml 2125] 土木学会論文集通常号投稿の
Corresponding Author 表記のお願い (11/7)
- 2020/4/1 以降、投稿要項の一部修正
- 原稿の責任著者連絡先の後に“(Corresponding Author)”の表記が求められる

→ 特集号でも同様です！

引き続き、ご協力よろしくお願い致します。

以上

大会運営小委員会報告

1. 小委員会委員
2. 開催状況報告
3. 今後の研究発表会の予定

小委員会委員

委員長	寺部 慎太郎（東京理科大学）
副委員長	岸 邦宏（北海道大学）
春担当幹事	日野 智（秋田大学）
秋担当幹事	西内 裕晶（高知工科大学）
開催校委員（春）	奥村 誠（東北大学）
開催校委員（秋）	高瀬 達夫(信州大学)
	柳沢 吉保(長野高専)
	轟 直希(長野高専)
協力	学術小委員会1年目委員
	小澤 一輝(土木学会)

第62回土木計画学研究発表会（企画提案型）

会場：オンライン開催

日程：2020年11月13日（金）～15日（日）

Zoomホスト：高瀬達夫・森本瑛士（信州大学），柳沢吉保・轟直希（長野高専），小嶋文（埼玉大学），西内裕晶・井川詩月・大内田将爽・岩原雄大・松尾柚希（高知工科大学），薄雪晴・寺部慎太郎（東京理科大学）

- 企画論文セッション（口頭発表，~~ポスター発表~~）
- スペシャルセッション
- 招待講演/~~特別講演~~
- ~~チュートリアル~~
- ~~懇親会~~

来年6月下旬：特集号論文投稿

来年12月下旬：採用／不採用通知

開催状況報告

投稿論文数 435編

参加者数 1317人

<自由投稿型>

2020春 オンライン 293編 483人

2019春 名城大学 286編 732人

2018秋 大分大学 341編 800人

2017秋 岩手大学 355編 828人

<企画提案型>

2019秋 富山大学 538編 1143人

2018春 東京工業大学 469編 1048人

2017春 愛媛大学 481編 1034人

第63回土木計画学研究発表会（自由投稿型）

会場：オンライン開催

日程：2021年6月5日(土)、6日(日)

開催校担当：奥村誠（東北大学）

- 論文セッション
 - 口頭発表, ポスター発表?
- ランチオンミーティング

3月上旬? : 論文投稿

6月下旬 : 特集号論文投稿

12月下旬 : 採用 / 不採用通知

第64回土木計画学研究発表会（企画提案型）

会場：オンライン開催か？

日程：2021年秋

大会運営小委員会委員長：秀島栄三(名古屋工業大学)

開催校担当：吉田樹（福島大学）

土木計画学研究委員会 幹事会企画報告

1. 全国大会討論会（MMTとインフラ）
2. 新型コロナウイルスに関する
行動・意識調査
3. COVID-19に関する土木計画学研究発表セミナー&論文集特集号企画

1. 全国大会 研究討論会

日 時	令和2年9月8日（火）13：00～15：00
委員会名	土木計画学研究委員会
タイトル	テーマ日本経済と土木
主 題	社会資本整備に代表される公共事業のマクロ経済への影響を改めて議論し、特に、失われた20年以降のデフレ状況下におけるフロー効果・ストック効果の役割、さらに、税制・国債発行などの財政政策の関係から、より実践的な視点と、MMT等の最新の経済学の視点から、日本経済における土木の役割を改めて討議する。
座 長	藤原章正（広島大学大学院国際協力研究科教授）
話題提供者	藤井聡（京都大学大学院工学研究科教授） 柴山圭太（京都大学大学院人間・環境学研究科准教授） 小池淳司（神戸大学大学院工学研究科教授） 田村秀男（産経新聞特別記者）
オンライン 配 信	youtube でアーカイヴ視聴可／現時点で1.2万回再生 [https://www.youtube.com/watch?v=TiDlO_sMW64&t=49s]

「MMTとインフラ政策」で検索

2. 「新型コロナウイルスに関する 行動・意識調査」

- 土木計画学研究小委員会「災害調査」の一環として実施
- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況が行動・意識に与える影響についての全国調査。
- Webモニター調査（株式会社サーベイリサーチセンターへ調査委託）
- 第1回調査 2020年5月21日～24日
- 第2回調査 2020年10月9日～19日
- 第3回調査 2021年 2～3月実施予定
- 計画学HPに概要&データを公開中
(研究目的には、ご自由にご活用頂けます！)

<https://jsce-ip.org/2020/06/03/covid19-survey/>

「土木計画学 COVID」で検索

概要

調査目的

- 「パンデミックに対する被害軽減／レジリエンス確保」実践に貢献しうる基礎データ収集としての、新型コロナの蔓延、および、政府からの国民社会経済活動自粛要請に伴う交通・都市活動、社会活動、経済活動に対するインパクトの把握、および、それらを踏まえたあるべき国土・都市計画、産業構造政策、交通物流政策についての提案。

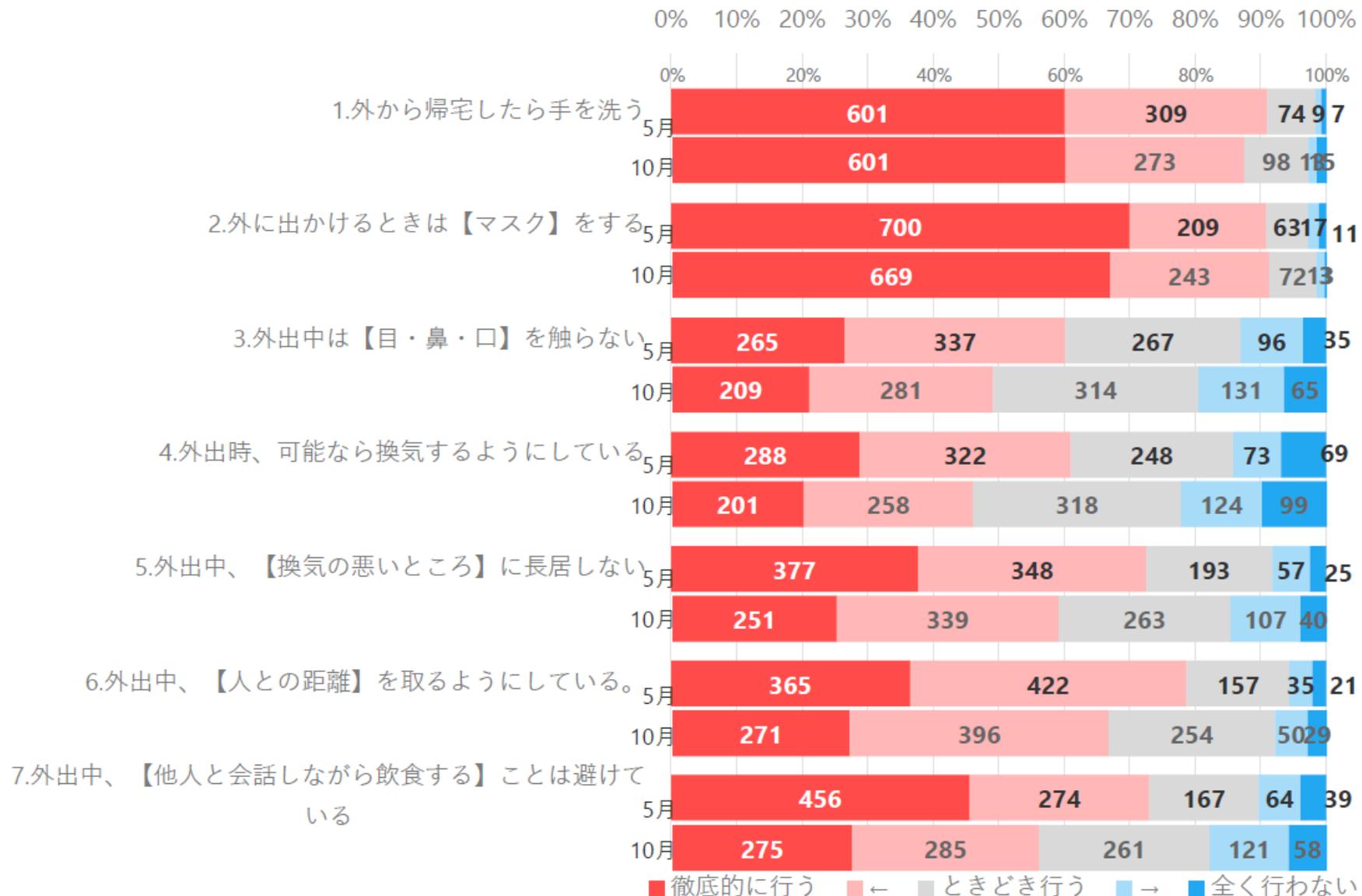
企画

- 土木計画学研究委員会

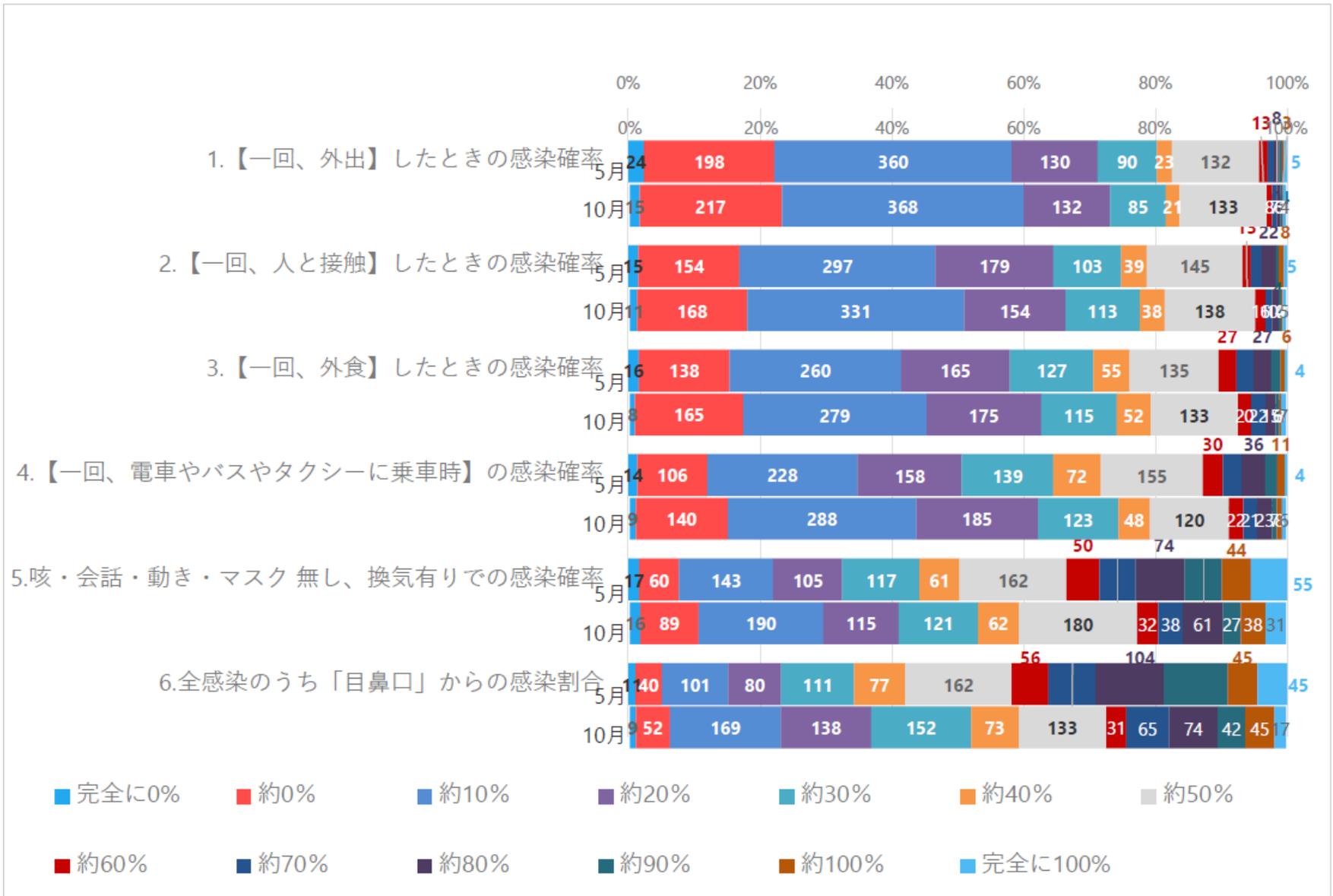
調査

- 手法：Web調査（協力：株式会社サーベイリサーチセンター）
- 時期：wave1:5/21~24, wave2:10/9~10/19
- サンプル：1000（wave2で79.7%は継続、20.3%は新規）

リスク回避行動 (wave1-Q10 and wave2-Q6)



リスク認知 (wave1-Q11 and wave2-Q7)



3. COVID-19に関する土木計画学研究 発表セミナー & 論文集特集号企画

- 開催状況

日時：8月8日(日) 13:00～17:55

発表件数：20件

参加者数：Zoomで100名超、YouTube同時視聴100名超

(その後、再生数約2000回)

発表資料・動画：<https://jsce-ip.org/2020/08/13/covid-19seminar200808/>

- 土木学会論文集D 3 特別企画

2020年9月1日 (火)	投稿開始
2020年9月30日 (水)	投稿締め切り
2020年10月～11月上旬	査読期間
2020年11月中旬 (予定)	登載可否決定
2021年1月 (予定)	掲載

※ 登載可否決定・掲載時期は査読の進捗状況により遅れる可能性があります

投稿件数 (現時点) 11本

(全体の締め切りは過ぎていますが、随時受付は可能)

土木学会論文集

「D4」設置について

これまでの経緯

R2年4月1日 ワンデーセミナー100回記念シンポジウムにて提案

R2年4～6月 土木計画学研究委員会・幹事会にて設置方針の検討

R2年6月 土木計画学研究発表会(春大会)にて議論の経緯を報告。意見募集。

R2年9月 D4設置ワーキングの設置し、D4設置案を検討。

R2年9月 D4設置案をD1, D2委員長に照会および申請確認

R2年10月 土木計画学研究委員会より、土木学会論文集編集調整委員会に
D4設置申請書を提出

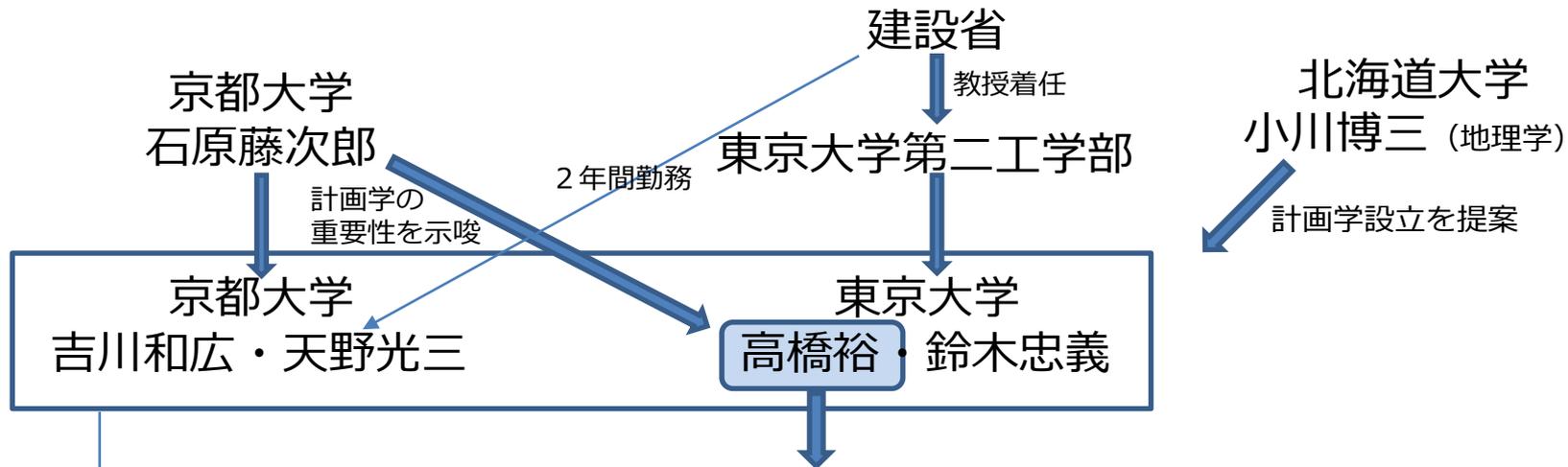
R2年10月 土木学会論文集編集調整委員会より許可通達

ワンデーセミナー100回記念シンポ 「土木計画学とは何か」

- 土木計画学・設置時の議論を文献&ヒアリング調査
- 土木計画学が
実践的な「土木計画・学」と
数理的な「土木・計画学」
の**似て非なる二学問の融合学問**であること、そして今日、**実践的な「土木計画・学」の発展を期することが重要となる局面に至っている事が確認**された。
- そのアプローチとして、「土木計画・学」の研究論文を掲載する分冊の新設が提案

高橋・天野インタビュー&文献調査 (概略報告)

(土木計画学の成立と背景～土木学会編 1976)



- 東大で「計画学」設置要望
一→ 失敗 (八十島・最上教授の二名だけが賛同するも「**計画なんて学問じゃない**」と否定)
- 土木学会で「土木計画学委員会」設置要望
→ やはり「**学問じゃない**」と反発されるも、
「土木計画学とは何かを研究する委員会」という趣旨で、
→ 名前を土木計画学**研究**委員会に変えるということでした承される。
- 土木学会、そして、各大学の「工学部」に認められるために、
数理的計画論を全面的に前に出す**戦略**を採用
一→ 初期の頃「**土木計画**」の学より **土木の「計画学」**の戦略的強調
(実践的学問) **(OR的数理的学問)**

高橋・天野先生インタビュー（抜粋）

（聞き手）計画学というとやっぱり初期のころは、ORが非常に、線形計画法とか。

高橋先生：そうそう。

（聞き手）あれはもう計画学っぽいですから。

高橋先生先生：**そこへもっていけばね、あんまりみんな反対しない。**

（聞き手）そういう意味では、方便でORを使っただけであって（笑）。

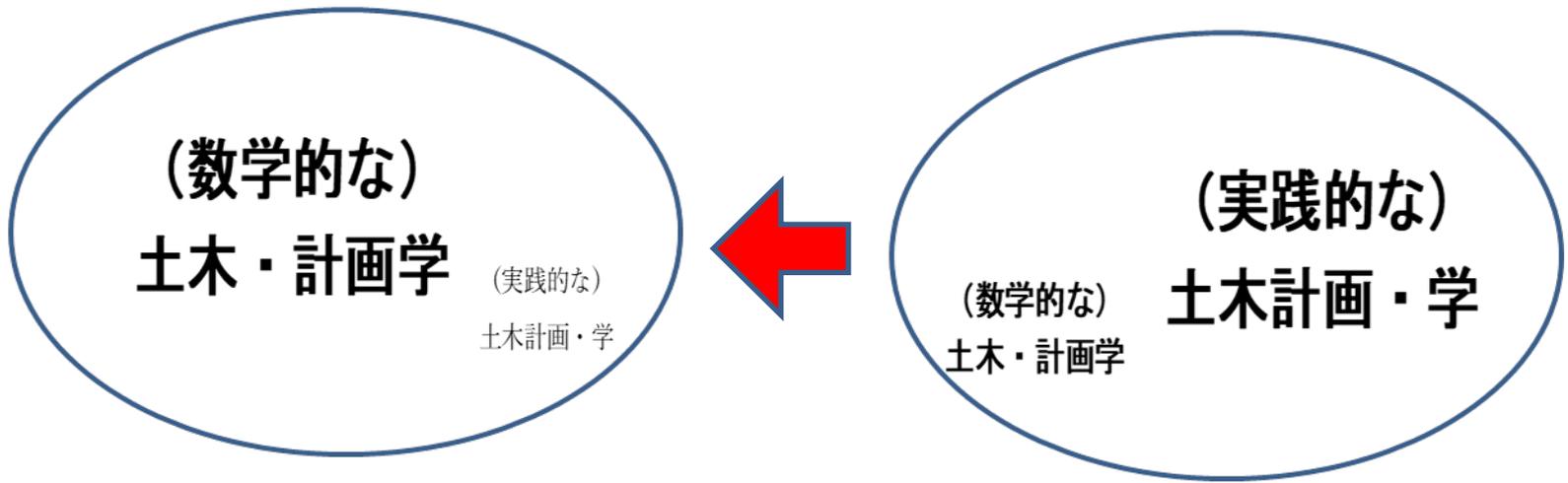
高橋先生：**そうそう、数学的だから、みんな安心するわけ（笑）。**

・ ・ ・

高橋先生；**数学があると、納得するわけ（笑）。**

（聞き手）そのあたりがやはりシステムズアプローチだと少し勘とかも抜けてしまうことがあるかもしれないということですかねえ。

天野先生：それで捉えきれない事象っていうのはわれわれとしてはまず・・・**勘と経験っていうのもね、必要だろうと。**とにかく人間がいかにかこう喜んで便利になるというものをつくるかというのが目的ですから。経済的な要素も当然ありますし。それを一応全部踏まえた形にするのはまず不可能だと思いますけど、**全部でなくてもいいからできるところまで、やはりあの排除するべきものでないものは残して考えないといけないとおもいますけどねえ。**



学会（土木計画学研究委員会）

実際の土木の現場

「土木・計画学」と「土木計画・学」のシェアイメージ

D4ワーキングの設置

WG 代表（土木計画学研究委員会委員長）	兵藤哲郎	東京海洋大
土木計画学研究委員会 前委員長	藤原章正	広島大
学術小委員会 委員長	佐野可寸志	長岡技術大
学術小委員会 幹事	土屋哲	鳥取大
論文集編集委員会 D3 編集委員会委員長	轟朝幸	日大
論文集編集委員会 D3 編集委員会委員	神田	呉工業高専
土木計画学研究委員会 副委員長	白水靖郎	中央復建
土木計画学研究委員会 副委員長	高橋清	北見工大
土木計画学研究委員会 幹事長	藤井聡	京都大
土木計画学研究委員会 幹事	鈴木春菜	山口大
土木計画学研究委員会 幹事	伊地知恭右	北海道開発技術センター

現時点のアウトプット：D4 設置申請書

D 4 設置申請書の概要

- 兵藤委員長から編集調整委員長への申請書
- D 1, D 2 委員長の確認を経て提出
- 以下の三つの「**課題**」がD分野論文集編集にある事を記載。
 - (1) **D3投稿論文数が多く査読体制の拡充が必要**
 - (2) **D3論文の「土木・計画学」と「土木計画・学」の二重性故の査読体制の本来的再編必要性、**
 - (3) **D3における「土木計画・学」査読体制の拡充必要性**
- 下記のように分冊名称の改変・設置を提案
 - D 3 (土木計画学：方法と技術)
 - D 4 (土木計画学：政策と実践)

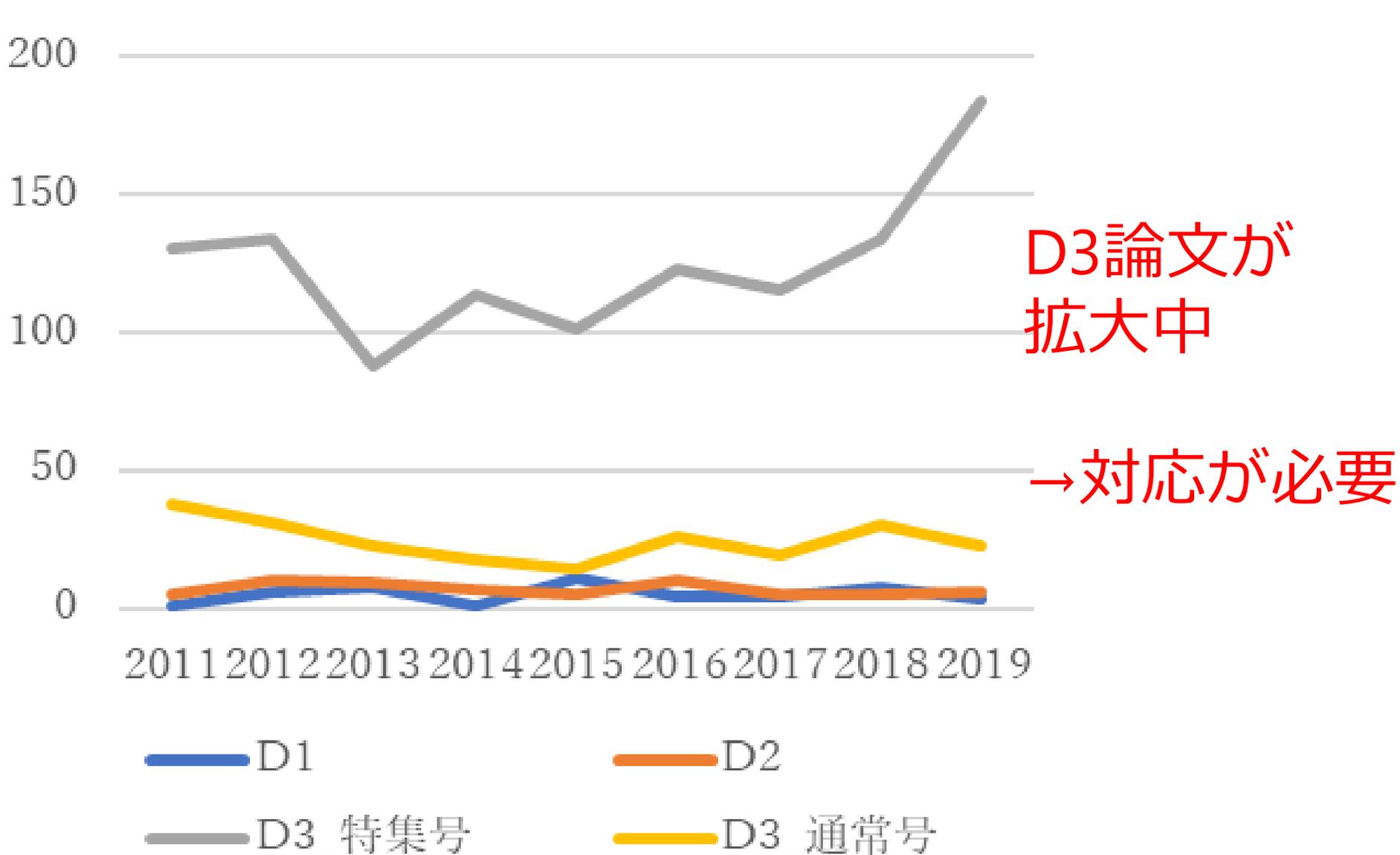


図1 D1, D2, D3_通常号, D3_特集号の掲載総数

D 4 設置申請書の概要（続き）

- D 3 のキーワード・査読体制・査読基準等は基本的に現状のまま。
- D 4 の編集は「**D 4 編集小委員会**」を新しく設置して対応。
(ただし経過措置として、当面は「D 4 編集準備小委員会」にて対応)
- **2021年春大会論文から、D 4 論文を募集**
(ただし経過措置として、当初は、現状のD 3 特集号とは別の特集号（例：D 3 特集号「政策と実践」）として発行)

D 4 設置に向けたこれからの対応

- ・ 秋大会後に「**D 4 編集準備小委員会**」を設置
- ・ 査読基準・投稿要領等の詳細の検討を開始。
- ・ 2021年の春大会までに、投稿要領の公開。
- ・ 2021年春大会から、**D 4 論文を募集**
(→2022年4月に「政策と実践」特集号発行)

**是非、多数の「政策と実践」論文の
投稿をご企画下さい。**

- ・例年同様、約400万円の収入〔調査研究費&調査研究拡充支援金〕

- ・ただし、COVIDの関係で、特別な次年度繰越を検討中

(現在、セミナー等開催費と委員会旅費を合わせた160万円を次年度に繰り越す方針で検討中)